

原価計算初級 出題範囲・内容

1. 原価計算の基礎概念

原価計算を身につけるうえで基本的に知っておくことを理解する。

(1) 原価概念

- 目的、活動、資源
- 資源の消費（量）

(2) 原価の計算

- 原価と収益
- 部門
- 責任、責任者
- 製品とサービス

(3) 原価の分類

- 材料費、労務費、経費
- 直接費と間接費

(4) 損益計算

- 製造原価、販売費および一般管理費
- 売上総利益、営業利益

2. 利益の計画と統制

利益はどのように変化するのか、なぜ利益が変化したのかを把握する。

(1) CVP分析

- 変動費と固定費の計算
- 売上高の計算
- 貢献利益と営業利益の計算
- 損益分岐点分析

(2) 予算実績差異分析

- 予算売上高と実際売上高
- 売上高の差異分析（販売数量差異と販売価格差異）

3. 製品別（サービス別）期間損益計算

どの製品（サービス）が利益を出しているかを把握する。

(1) 原価の集計

- 直接費の計算（直課）
- 間接費の計算（配賦）

(2) 在庫の原価

- 月末仕掛品原価の計算
- 月末製品原価の計算

(3) 製品別（サービス別）の損益計算書

- 売上原価の計算
- 販売費および一般管理費の計算
- 製品別（サービス別）の売上総利益、営業利益